災害に強い国土づくりなど9本柱

国土交通省重点施策

耐震改修税制の創設など

今回の重点施策は、▽災害や事件・事故、国際競争力強化など喫緊の課題への対応▽少子高齢化など中長期的な動向を見据えた先駆的、抜本的な取り組み▽省庁統合5年を迎え「施策の連携」から「施策の統合化」へ―に視点を置き、該当する事業を、七つのテーマ（柱）にまとめた。

テーマ別の主な施策と内容は次の通り。

災害に強い国土づくり

耐震改修税制（工事費の10%を税額控除など）の創設により、住宅・特定建築物の耐震化率を10年で9割に向上▽緊急輸送道路や新幹線・高速道路を跨ぐ橋梁の耐震補強、緊急輸送道路の沿道建物の耐震化▽ハード・ソフトの一体的な対策による津波・高潮・洪水・土砂災害対策▽学校・病院・社会福祉施設・不特定多数の利用施設・ライフライン施設の耐震化▽住宅・建築物・公共施設・インフラ施設の長寿命化▽ITを活用した防災・減災情報の収集・伝達▽地域・住民の防災・減災対策の強化など九つの柱で構成。今後10年間で、住宅などの耐震化率を9割に向上するための「耐震改修税制の創設」や、3カ年プログラムに基づく緊急輸送道路の橋梁と沿道建物の耐震化、一般競争入札・総合評価方式の活用拡大など、新たな主要施策を盛り込んだ。今後、必要に応じた予算措置や税制・法律の見直しなどにより、各施策の早期実現を図る。

安全な社会づくり

歩道拡幅や賢い踏切の導入などで1300カ所の「開かずの踏切」を5年以内に解消▽連立事業による踏切除去を2倍にスピードアップ

環境対策の強化

CO_2削減アクションプログラムの策定。政策メニューごとに削減目標を設定し、主要渋滞ポイント（約1800カ所）や踏切（約5400カ所）の対策を促進▽直轄工事での低燃費型建設機械の使用原則化。オフロード法基準に適合する建設機械の取得支援強化▽下水再生水や雨水など、未活用水の導入による「まちの清流」を新たに15カ所で実施

国際競争力の強化、観光立国の実現

スーパー中枢港湾関連道路のボトルネック解消（おおむね5年以内）、迅速な物流を可能とするスマートICの設置▽ユニバーサルデザインの考え方に基づく観光の促進と、無電柱化まちづくり事業などを連携させた観光地の戦略的形成

喜らしに密着した施策の展開

ハートビル法と交通バリアフリー法の一体化▽住宅政策を総合的・計画的に推進するための新たな枠組み作り（成果目標を明示した住宅政策の基本的な計画を新たに策定）

国土交通行政の新たな展開

国土形成計画の策定▽PFI事業の拡大（18年に14年比3倍増、事業分野の拡大）▽一般競争入札、総合評価方式の拡大による入札談合の再発防止

この話は同僚にも話した実話で、職員関係誌で紹介した内容の一部であるが、新聞社の方からの勧めもあり寄稿した。

私が単身赴任をしていた頃、夏休みに家族を赴任先に呼び寄せたことがあった。宿舎は海のすぐ近くにあるとても古い建物で、子供たちはいつでも海水浴が楽しめることもあり、リゾート感覚で楽しい時を過ごしていた。近くには民家もあり、子供達は大人と違ってすぐ友達をつくり、私も夜は花火の火付け役などして暑い夏の一時に花を添えていた。

水蔭

田ノ上 逸郎

ちょっとくさ～い話

とある土曜日の昼下がり、我が家の息子と近所の子が私にすがるように訴える。「友達の猫が便所に落ちたんだよ。お母さんに言っても汚いからしかたがないと言っている。猫がニャン、ニャン泣いているんだよ。助けてよ。早くしないと死んでしまうよ」。

私は早速その家に走った。確かに必死にもがく猫の鳴き声が家用の50ccバイクに乗り、大急ぎ2km離れた店に棒付きの網を買いに走った。

帰り着くと早速その家に行き、猫の鳴き声に聞き耳をたてるが聞こえない。もうだめかもしれない、同時に差し出がましいとも思いながら、買ってきた網をその家に置いて戻って来た。ところがしばらくして、そこの子と息子が私の前に現れた。「あのね、さっきは網を買ってきてくれてありがとう。お母さんがね、あの網で猫を助けてくれたんだよ。続けて息子が「だけどね、そのあと猫がびっくりして、家の中を走り回ってすごく臭かったんだよ。でも助かって良かった」と言う。私なりにほっとした。

翌日、その家の子が私のところへ来て言う。「何か欲しいものはない？」。私は「カブト虫がいいかな」と答えた。それから1週間ほどが過ぎ、その子がカブト虫を教匠持ってきた。「お父さんとね、朝早く起きて採りに行ったんだよ」と私にくれる。私は御礼を言いながら「そうね、大変だったね。お父さんにありがとうと言ってちょうだいね」とビール缶2、3個を渡した。ある夏の出来事である。ちょっとくさかったかな。

（県砂防課技術補佐）

道の駅追加・登録

本県 曽於市のすえよし 九地整

国土交通省九州地方整備局は10日付けで、管内の新たな「道の駅」7カ所を追加・登録したことを明らかにした。今回の登録により管内の「道の駅」は81カ所から88カ所に増えた。なお、本県では曽於市の「すえよし」が対象。

「道の駅」は、各種地域振興施設と休憩施設を一体的に整備し、道路・地域情報等の提供を行う多機能型休憩施設として位置付けられるもので、5年度から国土交通省九州地方整備局および各県の道路管理者を通じて、登録申請を受け付けている。全国では830カ所が登録されている。

かごしま県政出前セミナー

テーマは124項目 社会基盤整備など

県は、県政に関する説明や意見交換等を通じて地域住民らとの対話、交流を推進する「かごしま県政出前セミナー」の実施要領を16日発表した。

同セミナーは、県民からの要望に応じて県職員が各地域の集会等に出向き、県政の課題や施策等について意見交換等を行うもの。概ね20人以上の出席が見込まれる会合（自治会・PTA・企業内研修など）が対象で、希望者は各所管課ごとに設けられた124項目のテーマの中から希望する項目を一つ選んで申し込むことができる。実施時間は午前10時から午後9時まで（土・日・祝日は午後5時まで）の概ね90分間。会場等の運営については申し込み者が行う。

主なテーマは、鹿児島のみちづくり（道路建設課）、住まいや建物の地震対策（建築課・住宅課）、地域の将来と社会基盤整備について（監理用地課・土木事務所など）、中小企業の経営革新（経営金融課）など。

希望者は、所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、直接持参、郵送またはEメール（kenmin-koe@pref.kagoshima.lg.jp）で申し込むこと。

申し込み・問い合わせは、県広報課県民の声係（☎099・286・2093）まで。

かごしま住まいと建築展

11月25、26日 県民交流センター

県土木部住宅課は11日、「'05かごしま住まいと建築展」について、これまで決定した事項を発表した。この中で、開催は11月25、26日の2日間、鹿児島市のかごしま県民交流センターで開く。

吉丸組

あす、納涼大会

㈱吉丸組（吉丸泰生社長）の納涼大会は、18日午後6時30分に鹿児島市の桜島フェリーターミナルを出航し、錦江湾洋上で開く。

本県地区の整備内容等は次の通り（①設置場所②路線名③主な整備施設④供用予定）。

▽すえよし＝①曽於市末吉町深川11051～12②国道10号③駐車場、トイレ、情報提供施設、公衆電話、地域交流施設④17年12月

平成17年度版 ―― この一冊で、今年の県内工事計画がわかる ――

公共事業予算総覧

●定価 8,000円（消費税・送料別）

■お問い合せお申し込みは

株式会社 鹿児島建設新聞

鹿児島市錦江町3番36号

☎099-227-5100 FAX 225-19